



ニュース&トピックス

No.2025-121

(2026. 2. 4)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所
上席主任研究員 刀禰 和之
03-5202-7671
s1000790@facetoface.ne.jp

共栄火災海上保険(株)が提供する「安心経営点検シート」

ポイント

- 共栄火災海上保険(株)は、信用金庫のコンサルティング営業を支援するため、2025年7月から中小企業経営者向け「安心経営点検シート」を配布・提供している。
- 同シートは中小企業が抱える様々な経営課題や事業リスクをA3版1枚に取り纏めたもので、信用金庫渉外担当の使いやすさを重視した内容となる。
- 同シートの提供を受けた信用金庫は、渉外担当が事業先の新規開拓や取引深耕時に活用しており、実際、具体的なビジネスマッチングに繋げる事例なども出てきた。
- 同社は、今後も信用金庫のコンサルティング営業の質的向上を支援するとともに、連携して中小企業の抱える経営諸課題の解決に取り組みたいと考える。

1. 安心経営点検シートの提供開始

損害保険商品を取り扱う共栄火災海上保険(株)（図表1）は、信用金庫のコンサルティング営業を支援するため、2025年7月、「安心経営点検シート」の提供を開始した。同シートの開発・提供のきっかけは、信用金庫がコンサルティング営業を行う際に活用可能な「きっかけツール」へのニーズがあったためである。複数の信用金庫と意見交換を行ったところ、中小企業に対するコンサルティング営業に取り組むうえで、経営課題や事業リスクの聴取に苦慮する事例がみられた。特に営業店職員の減少によりOJT機能が低下する一方で、取り扱う課題解決策のメニューが多岐にわたる現在、経験の浅い渉外担当の活動支援に資するような会話の「きっかけツール」を求める信用金庫は多く、信用金庫と連携を深めたい同社としても何らかの側面支援が必要と考えた。

そこで同社の金融法人部が中心となって「安心経営点検シート」を作成することにした。信用金庫のHPやヒアリングで得た情報などを参考にしつつ、中小企業の抱える経営諸課題をコンパクトに取り纏めた同シートを完成させた。2025年7月から提供している。

2. 安心経営点検シートの特徴

同社の提供する「安心経営点検シート」はA3版1枚（両面）のパンフレットとなる。信用金庫の渉外担当がチラシ感覚で活用できるようシンプルな作りを意識している。

（図表1）共栄火災海上保険(株)の概要（24年度末）

会社名	共栄火災海上保険株式会社
本社所在地	東京都港区（新橋本社）
創立	1942年（昭和17年）7月
総資産	5,539億円
従業員数	2,689人
代理店数	9,470店
資本金	525億円

（備考）信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

同シートの特徴は以下のとおりである。

(1) 中小企業の経営諸課題を網羅

同シートは、中小企業が抱える経営諸課題のうち優先順位の高い項目を11の課題としてピックアップしている。例えば「M&A・後継者に関する課題」では、『後継者がおらずM&Aを活用した事業承継を検討している』『事業承継を考えているが何から手を付ければよいかわからない』のいずれかにチェックする仕様である。信用金庫の渉外担当は中小企業経営者と面談するなか、該当する課題にチェックを入れ、適宜本部の担当部署にトスアップできる。

(2) 情報提供活動に特化

同シートには保険会社名や具体的な保険商品を盛り込んでおらず、保険募集行為に該当しない様式である（弊害防止対応が不要）。そのため信用金庫の渉外担当は、日常的なコンサルティング営業のなかで同シートを自由に活用可能である。

(3) 信用金庫名での使用が可能

上記（2）にも関連するが同シートには同社の名称などを記載せず、自金庫名で中小企業に提供可能な仕様である。同シート外面の「お問い合わせ先」に自金庫名を記載のうえ、取引先に対するコンサルティング営業で活用しても差し支えない。

(4) その他

同社は信用金庫に同シートを配布・提供している。現物（紙ベース）での提供に加え、要望があれば問い合わせ先に信用金庫のシンボルマークや本部住所などを入力したPDFデータによる提供も行う。

3. 評価等

(1) 活用状況

2025年7月の提供開始以降、同社の確認では50金庫程度が同シートをコンサルティング営業に活用、また活用することを検討している状況にある（2026年1月現在）。

主な活用例を挙げると、新規開拓時のきっかけツールとして同シートを活用する信用金庫、取引先に対するコンサルティング営業をする際のチェックリストとして同シートを活用する信用金庫などがある。そのほか、新入職員研修の教材として同シートを活用する信用金庫などもあった。信用金庫からは、『保険会社名が記載されておらず、また弊害防止対応も不要なため、日常業務のなかで使いやすい』などと好評である。

同シートで得た取引先の経営課題およびニーズを本部担当部署にトスアップし、具体的なビジネスマッチングに繋げる事例なども出てきた。

(2) 今後の展開

同社は今後も信用金庫のコンサルティング営業の質的向上を支援するとともに、連携して中小企業の抱える経営諸課題の解決に取り組みたいと考えている。なお、同シートの内容については信用金庫の活用状況などを踏まえて適宜修正していく予定である。

(図表2) 安心経営点検シートの内容 (内面)



(備考) 共同火災海上保険(株)提供

本稿で取り上げた「安心経営点検シート」の入手および活用を検討する場合、最寄りの共栄火災海上保険株の支社まで相談願います。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがいまして、投資・施策実施等についてはご自身の判断でお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。